

ベビーカー

スムーヴ

SMOOOVE

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

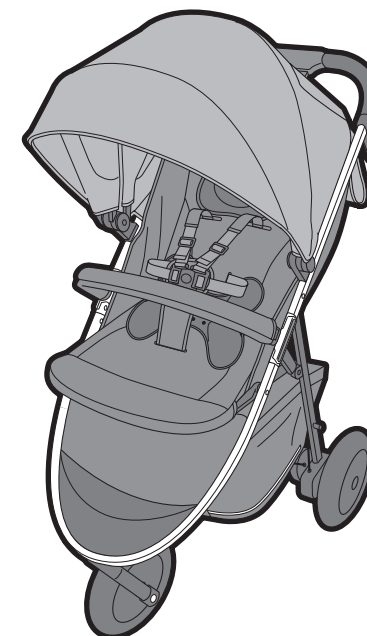
この製品は生後1カ月～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいいます。

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読み
のうえ正しくお使いください。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる
場所に必ず保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しない
でください。製品の機能が充分発揮できないだ
けでなく大変危険です。



SG安全基準A形

目次

はじめに

ご使用前に	1
保護者の方へのアドバイス/SG基準について/本書の表示について	
ご使用上の注意	2~4
警告/注意	
製品を取り出した時に	5
製品の特徴	
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの組み立て・開き方	7
ストッパーの使い方	8
ハンドルブレーキの使い方	8
フロントガードの開き方	9
足のせサポートの使い方	9
パッド類の取り付け方	10
お子さまの乗せ方	11
肩ベルトの高さ調節	13
リクライニングの角度調節	14
日除けの使い方	15

カゴの使い方	16
ベビーカーの折りたたみ方	17

縫製品の取り外し方法

シートの取り外し方	19
フロントガードカバーの取り外し方	20
シートの取り付け方	21

その他

オプション品をご使用の際の折りたたみ方	22
日常のお手入れ	23
縫製品の洗浄方法	23
車体のお手入れ	23
タイヤのお手入れ	25
困った時	27
保管について/廃棄について	28
SGマーク制度について	28
保証とアフターサービスについて	29
保証書	30

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首がすわるまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。

- ①常に赤ちゃんの様子に気を付け、連続使用は避けましょう。
- ②赤ちゃんに直射日光が当たらないように注意しましょう。
大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
- ③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
- ④段差の通過は出来るだけ静かに、振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。

SG基準について



・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)


適用範囲	この乳母車は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用の乳母車です。
形式の分類	A形 生後1カ月*を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できる乳母車。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上


*ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいいます。

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

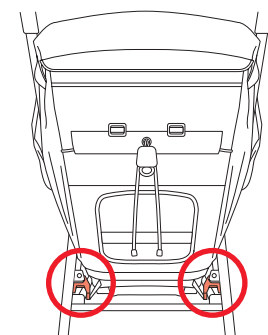
警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

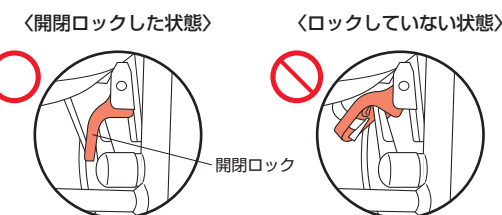
シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。



ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



- ・使用前はハンドル部分を2~3回上下させ、完全に車体が開いていることを確認する。
- ・開閉ロックが下りていることを確認する。(左右)

お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。



(次ページに続く)

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。

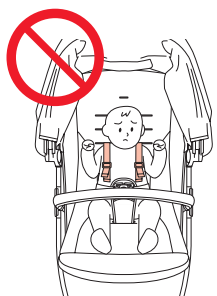


お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



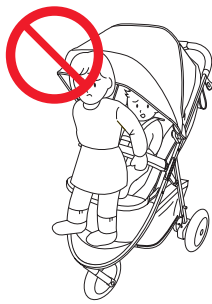
お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。また、お子さまの体格に合わせて調節すること。



ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルや折りたたみロックにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。



開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。



ハンドルに過度の荷重をかけない。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- お子さまにベビーカーを操作させない。
- お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- 弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。(ただし付属部品の取り外しを除く。)
- シートを外した状態で使用しない。
- 急激に力を加えたり、落下、投げ投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

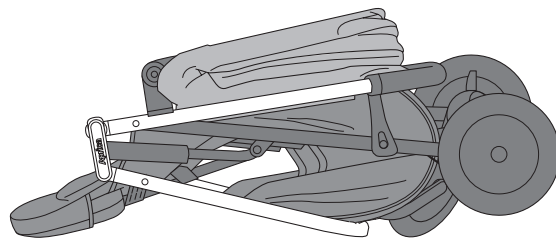
- 必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはプラスチック用の潤滑油をご使用ください。
- 長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- 2台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたまま使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- 保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- 荷物などの運搬のために使用しない。
- その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはいし。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、ケガをするおそれがあります。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 風の強い時は使用しない。
- 雷の時は使用しない。
- 室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- 段差を乗り越えにくい場合は後輪をつなぐバーの部分に足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。
- その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29 参照)
- ・ご使用前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②お買い上げ年月日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P29 参照)

本体

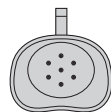
- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態、フロントガードが取り外された状態になっています。ご使用前に必ずフロントガードを取り付けてください。
- ・ベビーカーの組み立て方はP7を参照ください。
- ・組み立てに器具、工具は必要ありません。
- ・フロントガードは箱から取り出した時には、カゴの下部に収納されています。フロントガードを取り出す際には、カゴ下部の面ファスナーを外さないようご注意ください。



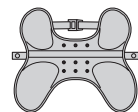
付属品



フロントガード
(箱から取り出した時には、カゴの下部に収納されています。)



頭マモールパッド
(本体に装着されています。)



腰マモールパッド



取扱説明書/保証書
(本書)

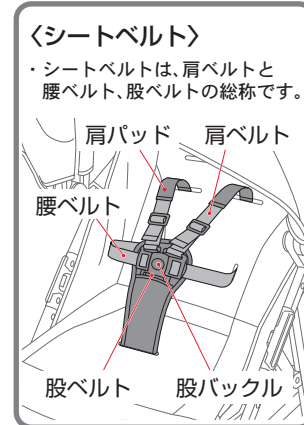


- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

〈製品の特徴〉

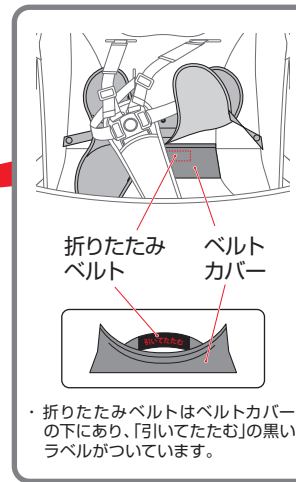
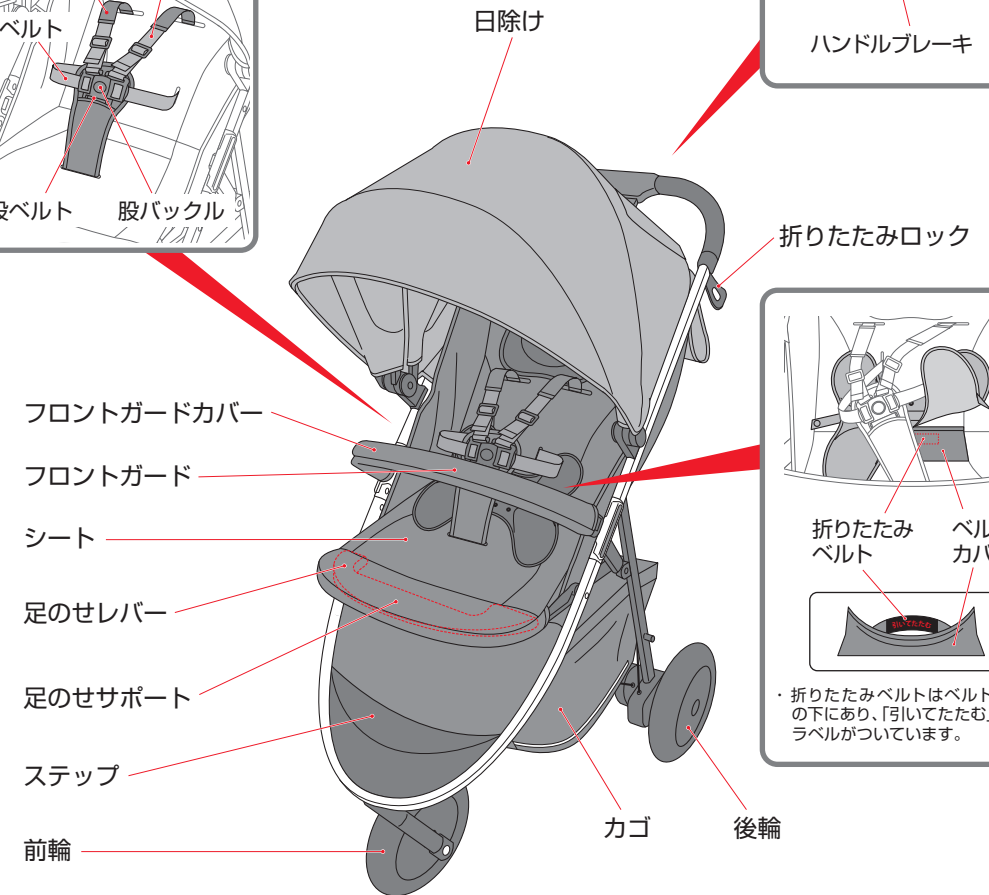
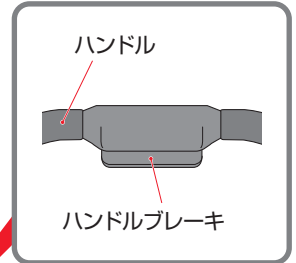
- ・ハンドルは背面側固定式です。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。
- ・フレームには軽量のアルミパイプを使用しています。

各部の名称



〈シートベルト〉

- ・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。



- ・折りたたみベルトはベルトカバーの下にあり、「引いてたたむ」の黒いラベルがついています。

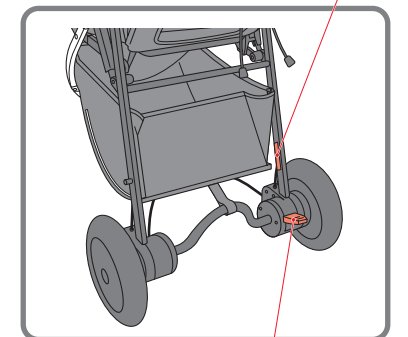
〈背もたれ背面〉

- リクライニングベルト (Recline belt)
- リクライニングリング (Recline ring)
- リクライニングコード (Recline cord)

開閉ロック (Open/Close lock)

品名・品番ロット番号シール

- ・保証書記入時に参照ください。



ストッパー(後輪右側)

ベビーカーの組み立て・開き方



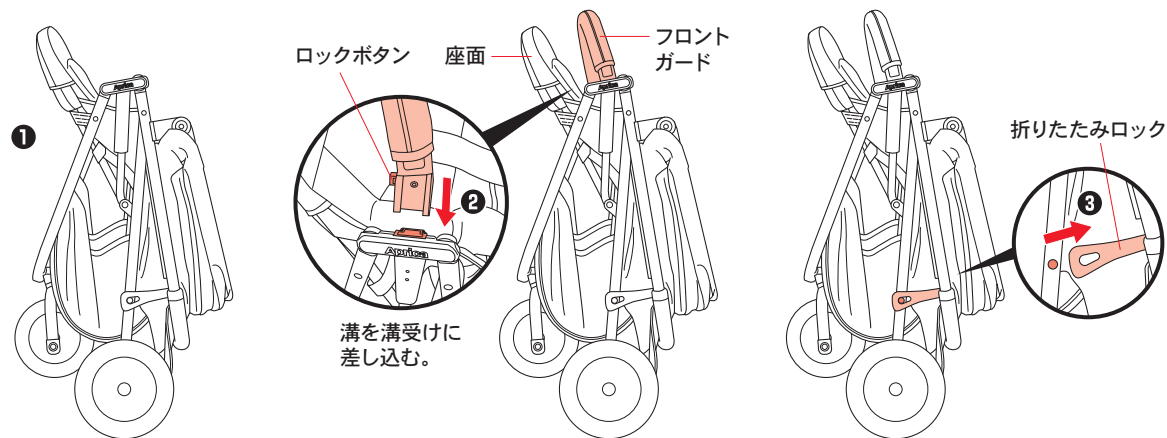
- ・組み立てや開閉操作は必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



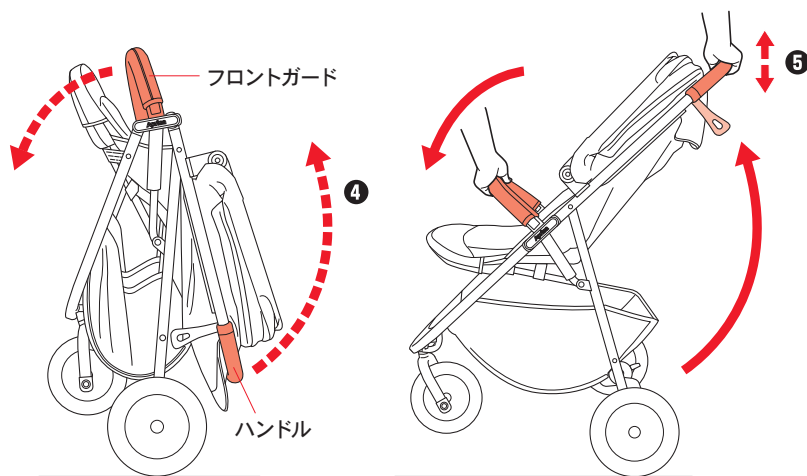
- ・使用する前は必ず空気圧を確認し、空気圧が低い場合は適切に空気を入れてください。(P25参照)

お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

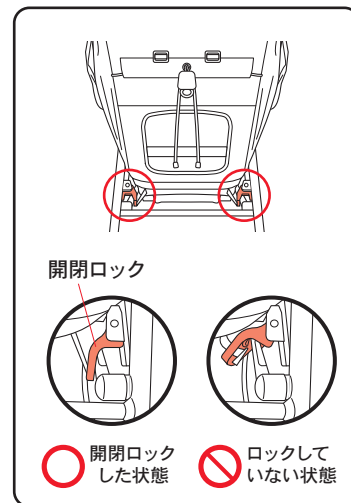
〈組み立て・開き方〉



- ①車体を起こす。
- ②フロントガードを車体に差し込む。
・フロントガードのロックボタンを座面側に向けて差し込む。
- ③折りたたみロックを解除する。



- ④ハンドルとフロントガードを持ち、開く。
- ⑤使用前はハンドル部分を2~3回上下させ、完全に車体が開いていることを確認する。



・開閉ロックが下りていることを確認する。(左右)

ストッパーの使い方



- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。



- ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーをロックしてください。

・後輪右側にあるストッパーを押し下げること、左右両方の後輪をロックすることができます。

〈ストッパーをロック解除する場合〉

〈ストッパーをロックする場合〉



- 車輪のストッパーを押し上げてロック解除する。

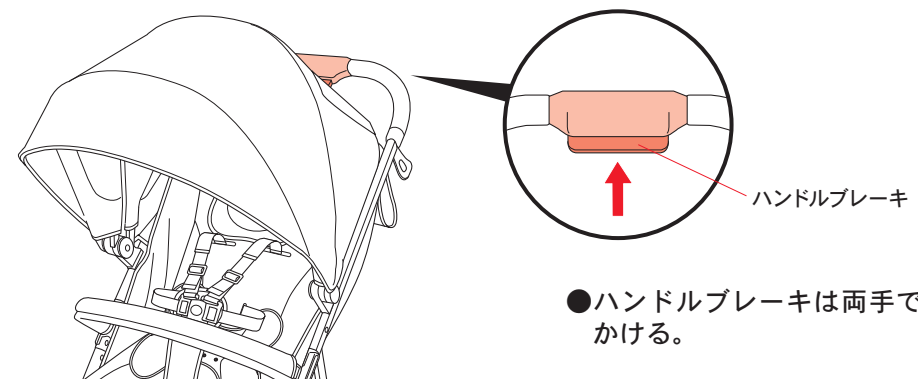
- ①車輪のストッパーを押し下げてロックする。
- ②前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

ハンドルブレーキの使い方



- ・ハンドルブレーキを使う時は、両手で中心部を握ってください。ハンドルブレーキの端側一方を握ると片側のみにブレーキがかかるため、バランスをくずし転倒するおそれがあります。
- ・走行中の急ブレーキは転倒などの事故につながるおそれがありますのでご注意ください。
- ・ベビーカーを長時間停止させる場合や、信号や踏切などで停止する場合はハンドルブレーキではなく、ストッパーで確実に停止させてください。

・ハンドルブレーキを握ることで、左右両方の後輪にブレーキがかかります。



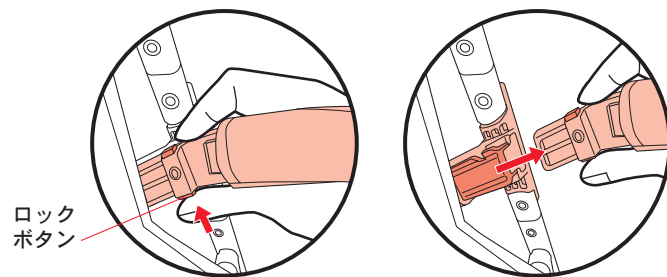
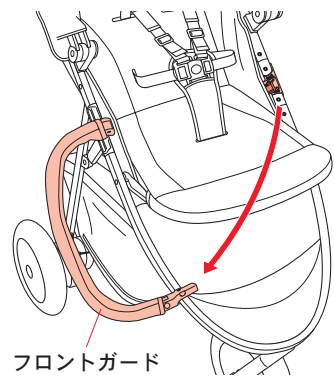
- ハンドルブレーキは両手で中心部を握ってかける。

フロントガードの開き方



・開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをするおそれがあります。

・フロントガードは左右どちらでも開くことができます。

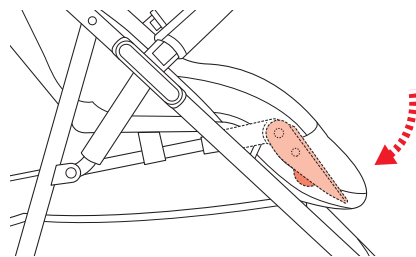
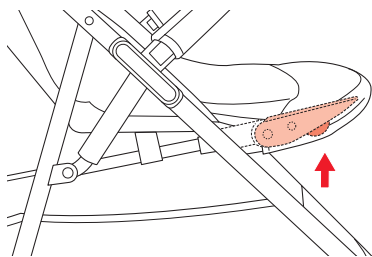


●下側のロックボタンを押しながら、フロントガードを前方に引き抜く。

足のせサポートの使い方

・背もたれを一番倒した状態での使用時に、足のせサポートをご使用ください。

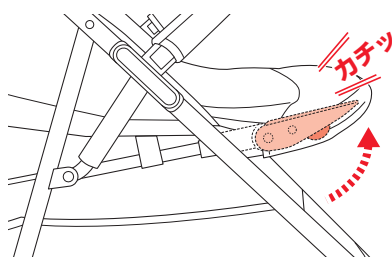
〈足のせサポートを使用しない場合〉



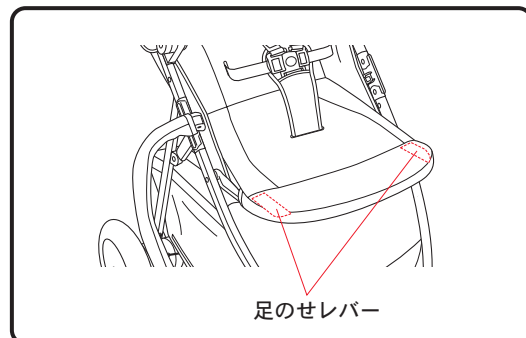
①シート内部の足のせレバーをつまみ、(左右)

②足のせサポートを下げる。

〈足のせサポートを使用する場合〉



〈内部の足のせレバー位置〉



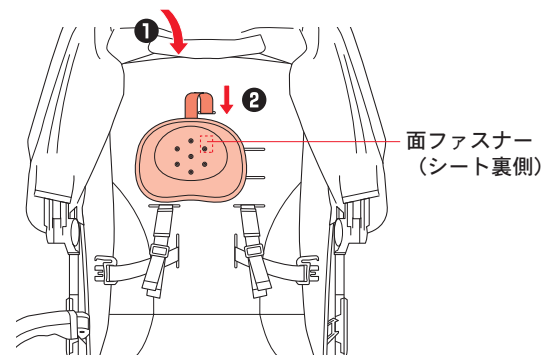
●シート先端を持ち、足のせサポートを上げる。

パッド類の取り付け方

・頭マモール、腰マモールは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭マモールパッド 首すわりの頃(月齢の目安:4カ月頃)までご使用ください。

・頭マモールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長7カ月頃まで使用できます。(肩ベルトの高さ調節はP13参照)

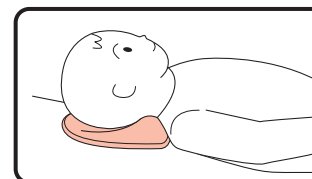


①背もたれを一番倒した状態にする。(P14参照)
②パッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを矢印方向に通し、シート裏側の面ファスナーに取り付ける。



・パッドが取り付けにくい場合は、シートの上部を外して、シートの裏側を見ながら取り付けてください。(シートの取り外し方はP19④参照)

〈頭マモールパッドの取り付け位置について〉

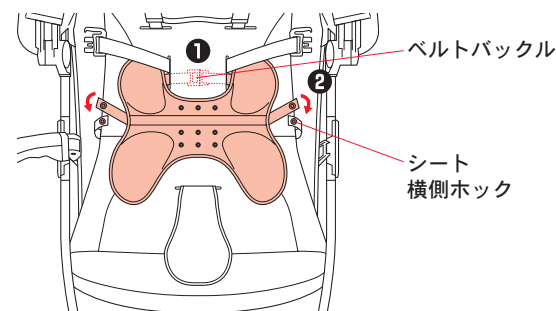


●パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。
※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外してください。



・頭マモールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。また、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外す。

腰マモールパッド (1カ月～3歳頃まで使用できます。)

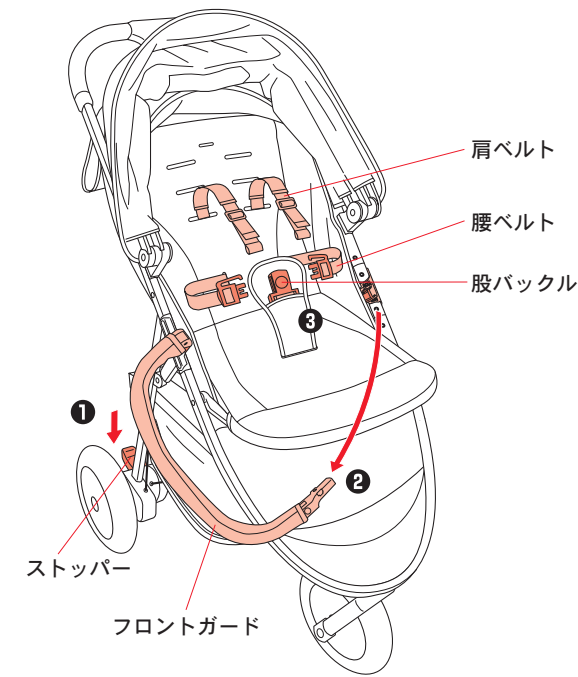


①上部のベルトバックルをシートの腰ベルト通し穴に通し、とめる。
②腰マモールパッド横側のホックをシート横側のホックにとめる。(左右)

・3歳未満でも、お子さまの体格によっては腰マモールパッドが合わなくなることがあります。その時は取り外してください。

・パッド類の取り外しは、逆の手順で行ってください。

1 準備



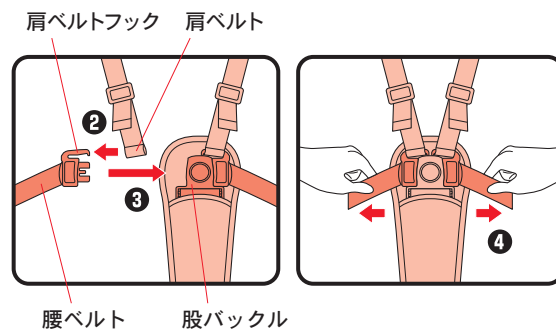
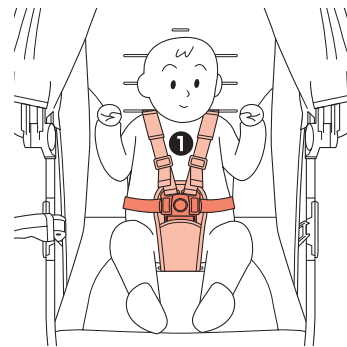
- ①ストッパーをロックする。(P8参照)
- ②フロントガードを開く。(P9参照)
 - ・下側のロックボタンを押して開く。(フロントガードは左右どちらへも開くことができます。)
- ③肩ベルト、腰ベルトを外す。
 - ・股バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外す。
 - ・肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。
- ・肩ベルト位置を変える時は、P13「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。
- ・リクライニングの角度を変える時は、P14「リクライニングの角度調節」を参照ください。

警告

- ・開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをするおそれがあります。

2 乗せ方

〈お子さまを乗せてシートベルトを締める〉



- ①お子さまを乗せる。
 - ②肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
 - ③腰ベルトを股バックルに差し込む。
 - ④左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
- ※肩ベルトと腰ベルトと股ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P12参照)

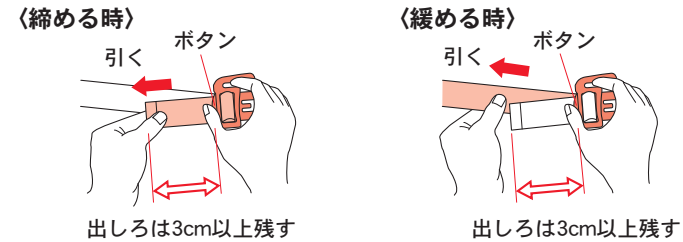
アドバイス

- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

警告

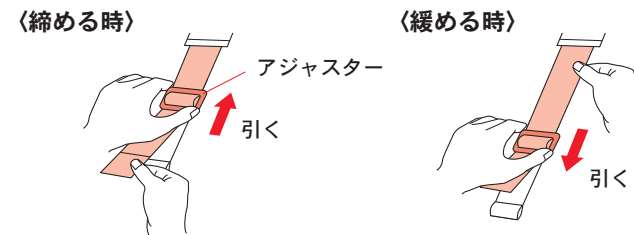
- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
- ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

〈腰ベルトの調節〉



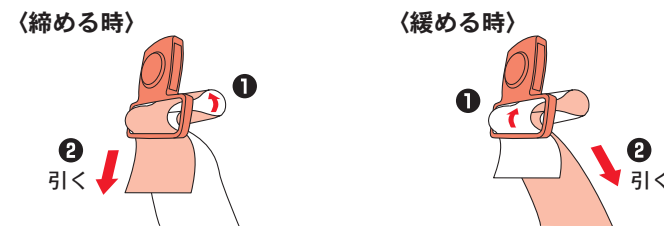
- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

〈肩ベルトの調節〉



- アジャスターを引き、長さを調節する。

〈股ベルトの調節〉



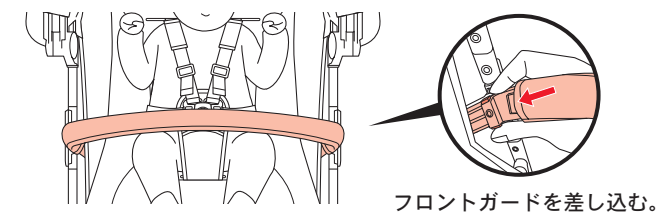
- ①ベルトを引き出す。
- ②ベルトを引き、長さを調節する。

・調節後、股バックル裏フックと股ベルトカバーのフックがとまっていることを確認してください。(P22参照)

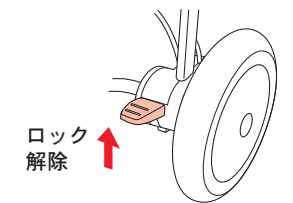
警告

- ・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、シートベルトを締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
- ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
- ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ってベビーカーを持ち上げない。
- ・腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

〈フロントガードを閉じる〉



〈ストッパーをロック解除する〉



・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

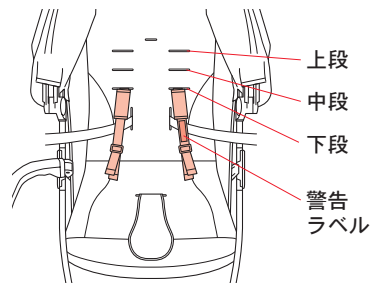
肩ベルトの高さ調節



- ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。
- ・肩ベルト調節後、2~3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。肩ベルトが外れると、お子さまが落下するおそれがあります。

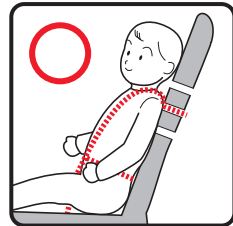
〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。
- ・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。



月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月~36カ月	上 段
7カ月~18カ月	中 段
1カ月~7カ月	下 段

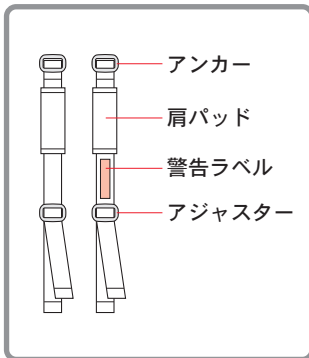
※上記表示は目安であり個人差があります。



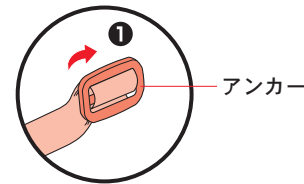
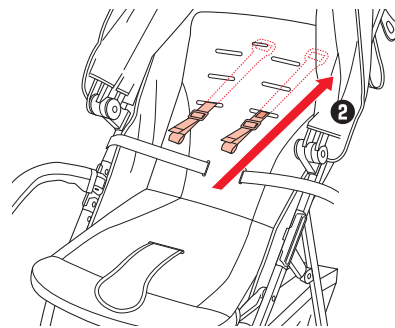
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表にくるようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

〈肩ベルトの高さ調節のしかた〉

- 股バックルから肩ベルト、腰ベルトを外す。(P11「準備③」参照)
- シートをめくる。(P19 参照)

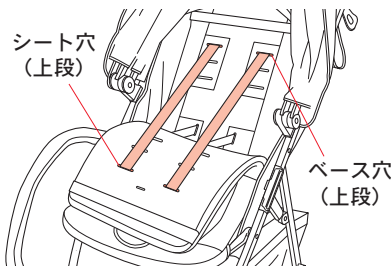


アンカーを差し込む



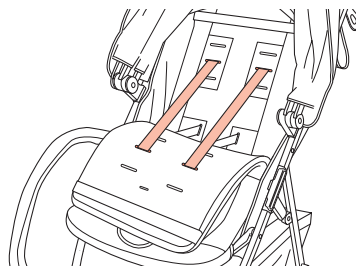
- ①肩ベルトのアンカーをひねる。
- ②背もたれとシートの肩ベルト通し穴から肩ベルトを抜き差しする。(左右)

〈上段を使用する時〉



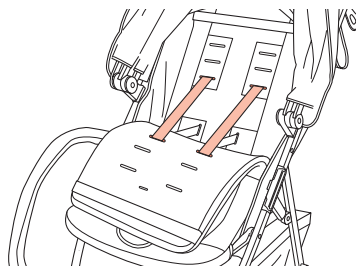
- シート穴(上段)とベース穴(上段)に通す。

〈中段を使用する時〉



- シート穴(中段)とベース穴(中段)に通す。

〈下段を使用する時〉



- シート穴(下段)とベース穴(下段)に通す。

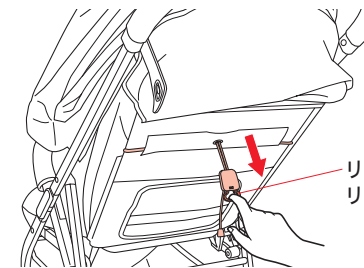
- 高さ調節後、シートをかぶせ、面ファスナーをとめる。(P22 参照)
- 肩ベルト高さ調節後、2~3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

リクライニングの角度調節

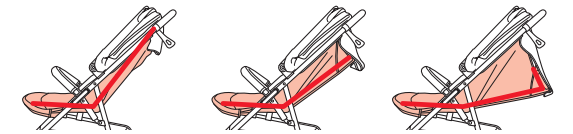
〈リクライニング位置の目安〉

月齢(体格)の目安	リクライニングの位置
1カ月~首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態~中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態~一番起こした状態

背もたれを倒す時



リクライニングリング



- ①肩ベルトをゆるめる。(P12 参照)
- ②片方のお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。
- ③リクライニングリングを引ながら背もたれを倒し、角度を調節する。
- ④肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。

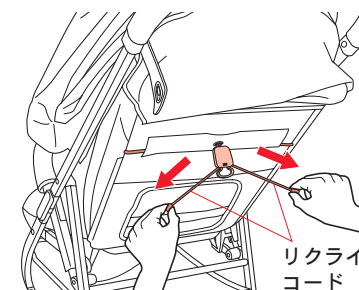


- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、シートベルトを締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



- ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
- ・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

背もたれを起こす時



リクライニングコード

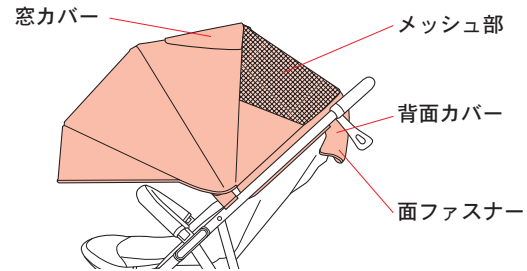
- お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。



- ・お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

日除けの使い方

〈日除け各部の名称〉

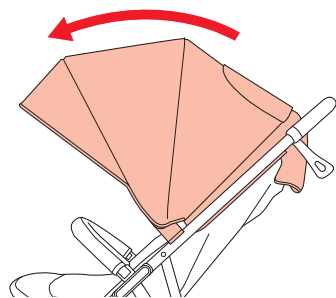


・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。



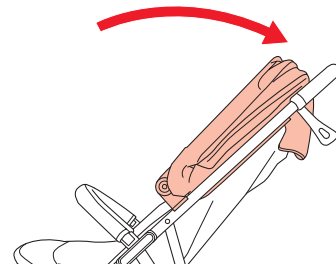
・日除けは外さないでください。無理に外そうとすると、思わぬけがをしたり、日除けが破損するおそれがあります。

開き方



●日除けを前方に開く。

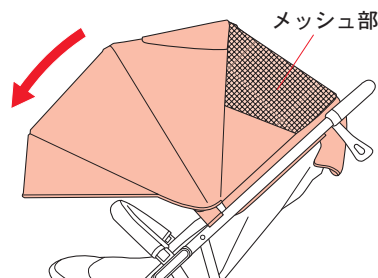
閉じ方



●日除けを閉じる。

日除けの角度調節

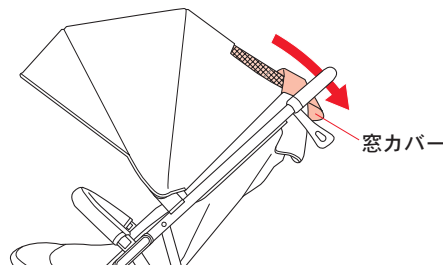
・背もたれを倒した時や日差しの低い時など日除けの角度を調節できます。



●日除け先端部分を持って、メッシュ部を引き出す。

窓カバーの使い方

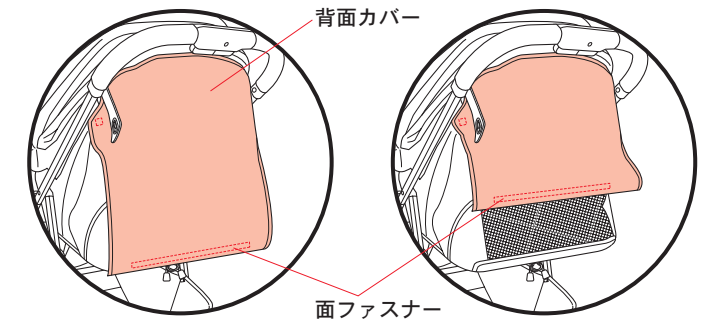
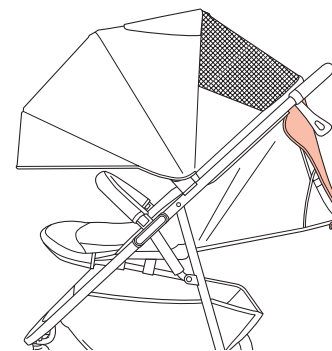
・窓カバーを開くと、窓からお子さまの様子を見ることができます。



●窓カバーを開く。

背面カバーの調節

・背面カバーの位置を調節することで、シートへの通気を調節できます。



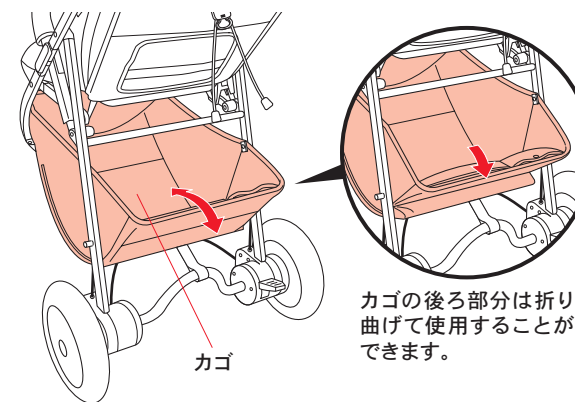
カゴの使い方



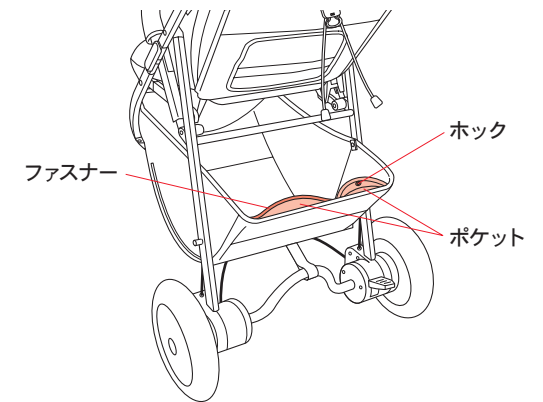
・カゴにお子さまを乗せない。ベビーカーが破損し、お子さまや使用者がけがをするおそれがあります。



・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
・ポケットには重いもの、貴重品などは入れない。ポケットの損傷や紛失のおそれがあります。



カゴの後ろ部分は折り曲げて使用することができます。



●カゴの上部から、荷物の出し入れをします。
・カゴは取り外しできません。

●ポケットをご使用の場合は、ファスナーおよび、ホックを外して荷物を入れてください。



・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。



・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
 ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

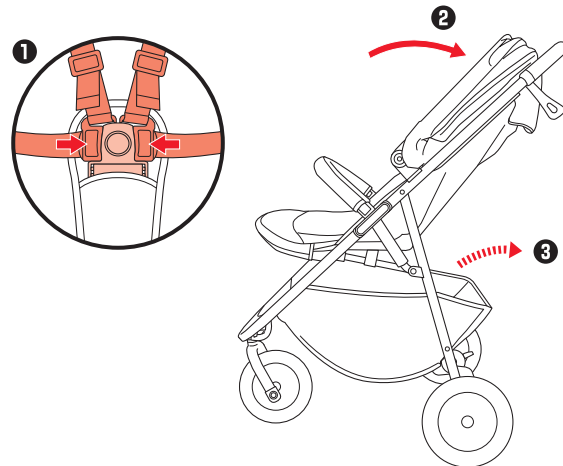


・肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込んでからベビーカーを折りたたむこと。股バックルが破損するおそれがあります。

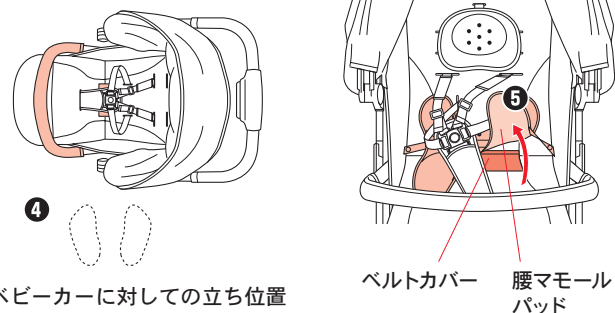
お願い

・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に



〈車体を上から見た図〉



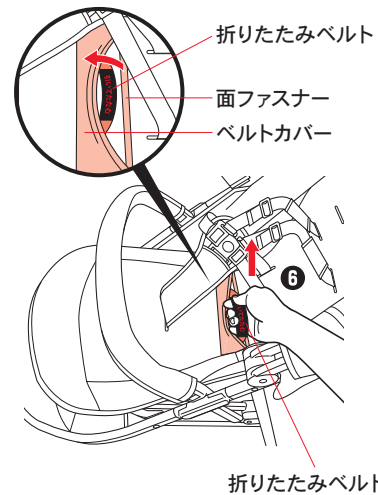
ベビーカーに対しての立ち位置

ベルトカバー 腰マモールパッド

- ①肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。(P11 参照)
- ②日除けを閉じる。(P15 参照)
- ③カゴから荷物を取り出す。
- ④車体を上から見て図のような位置に立つ。その際に車輪の前に足を置かないようにご注意ください。
- ⑤腰マモールパッドを取り付けている場合はめくる。

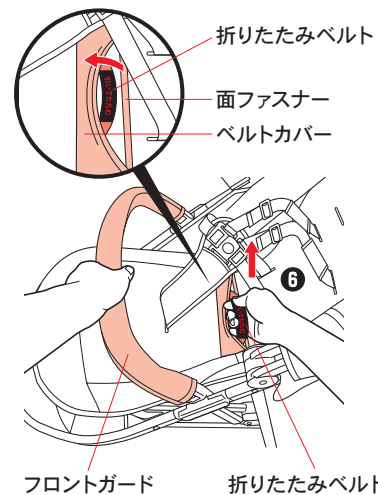
・本ベビーカーは、2通りの 折りたたみ方ができます。

2 片手で折りたたむ時

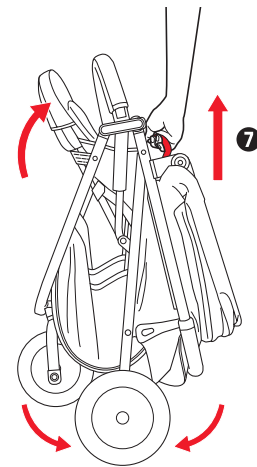


⑥ベルトカバーの面ファスナーを外してめくり、折りたたみベルトを握り、

2 両手で折りたたむ時



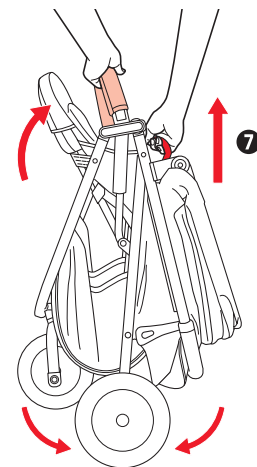
⑥ベルトカバーの面ファスナーを外してめくり、折りたたみベルトを握り、もう片方の手でフロントガードを持つ。



⑦そのまま折りたたみベルトを引き上げると車体が折りたたまれます。



・車体が上手く折りたたまれない場合は、折りたたみベルトを勢いよく引き上げてください。

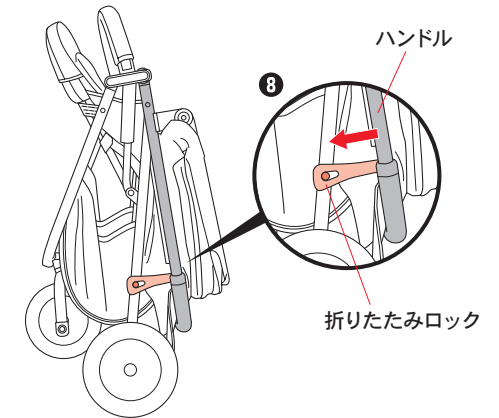


⑦そのまま折りたたみベルトを引き上げると車体が折りたたまれます。

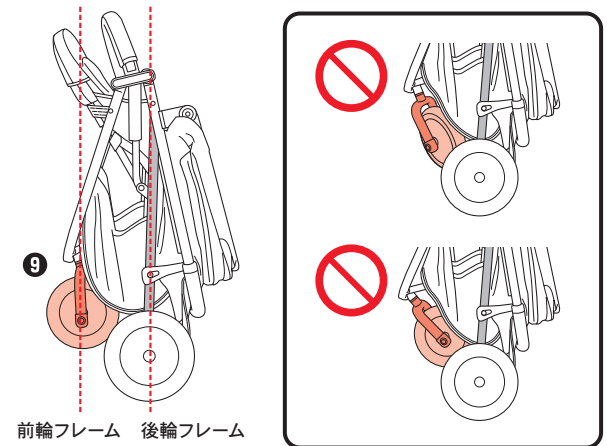


・車体が上手く折りたたまれない場合は、折りたたみベルトを勢いよく引き上げてください。

3 ロックと確認



⑧折りたたみロックがかかっていることを確認する。かかっていない場合は矢印の方向にハンドルを寄せ、ロックをかける。



前輪フレーム 後輪フレーム

〈正しい向き〉

〈誤った向き〉

⑨前輪の向きを確認する。前輪フレームが後輪フレームに対しておおむね平行になっているのが正しい向きです。



・前輪の向きが正しくない場合、自立しません。前輪の向きを正しい向きに直してください。

シートの取り外し方



・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

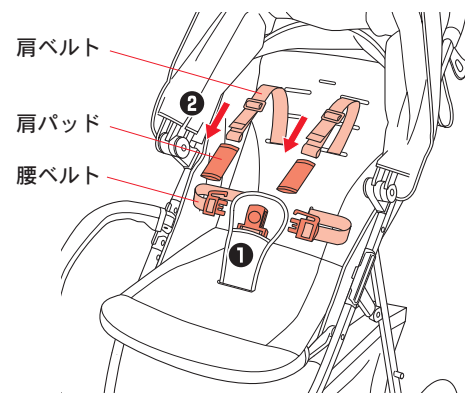


・破れやほつれのあるシートをそのまま使用しない。中の綿をお子さまが誤飲したり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。

お願い

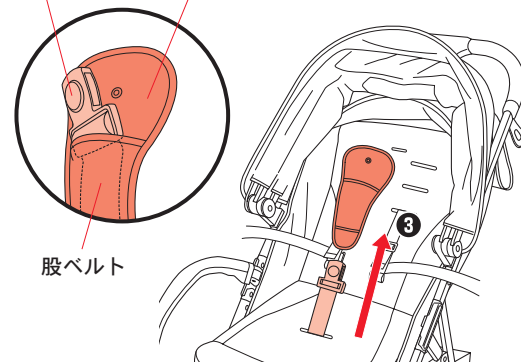
・シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。

・頭マモールパッド及び腰マモールパッドをご使用の場合は取り外してください。(P10 参照)

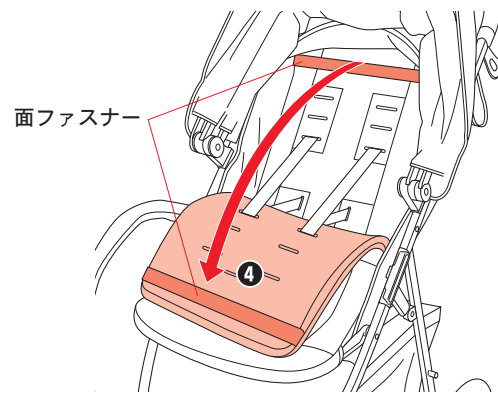


- ① バックルを押して、肩ベルト、腰ベルトを外す。
- ② 肩ベルトを肩ベルトフックから抜き、肩パッドを抜き取る。

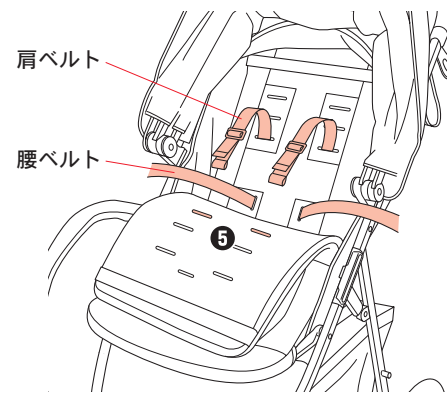
股バックル 股ベルトカバー



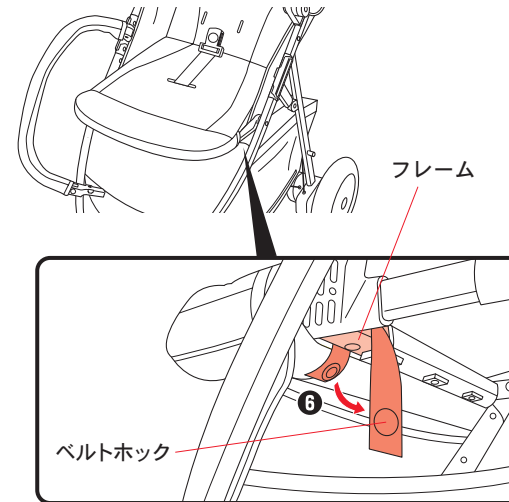
- ③ 股バックルのフックを外し、股ベルトカバーを抜き取る。



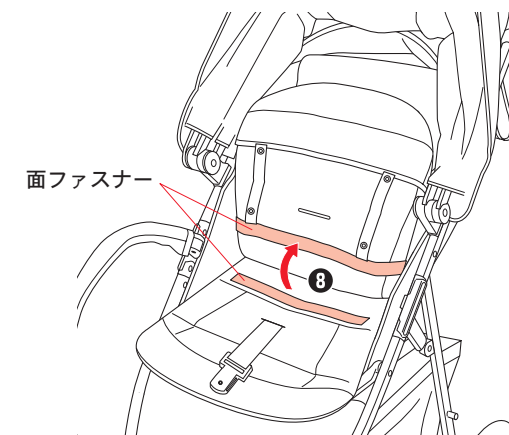
- ④ 背もたれ側のシートをめくり、背もたれ裏側の面ファスナーを外す。



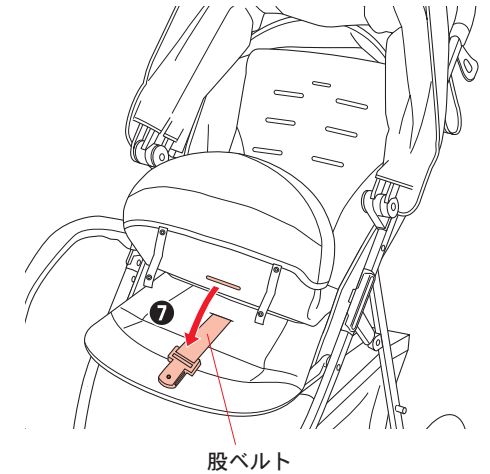
- ⑤ 肩ベルト、腰ベルトをシートから引き抜く。



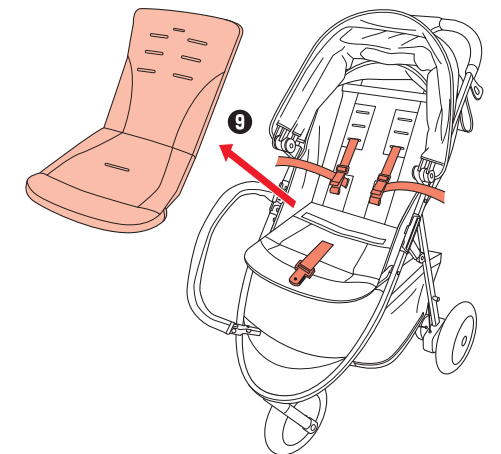
- ⑥ ベルトフックを外し、フレームから抜き取る。(左右)



- ⑧ 面ファスナーを外す。

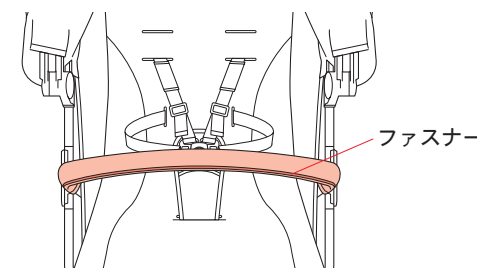


- ⑦ シートをめくり、股ベルトをシートから抜き取る。



- ⑨ シートを取り外す。
・腰ベルト、股ベルトは取り外しできません。

フロントガードカバーの取り外し方



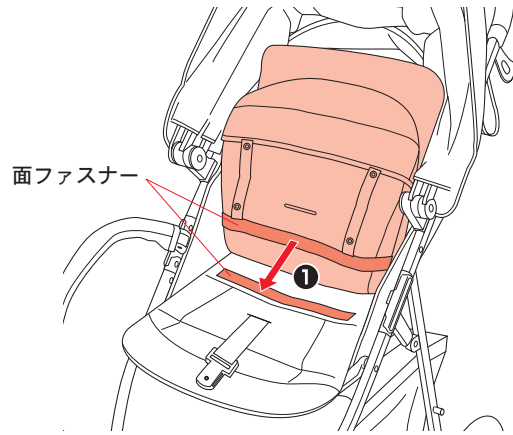
- フロントガードカバーのファスナーを外し、取り外す。

シートの取り付け方

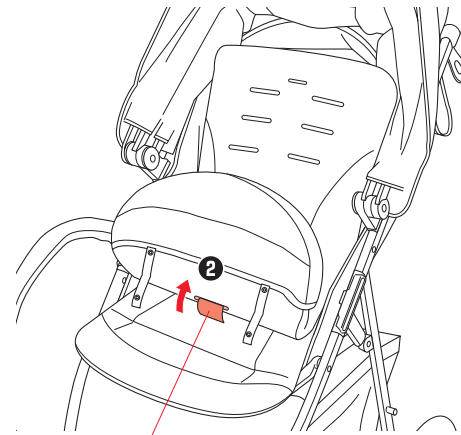


- 警告**
- シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。
 - シートを取り付ける時はホックや面ファスナーを確実にとめる。取り付けが不完全な状態で使用すると、ケガや破れなどの原因になります。

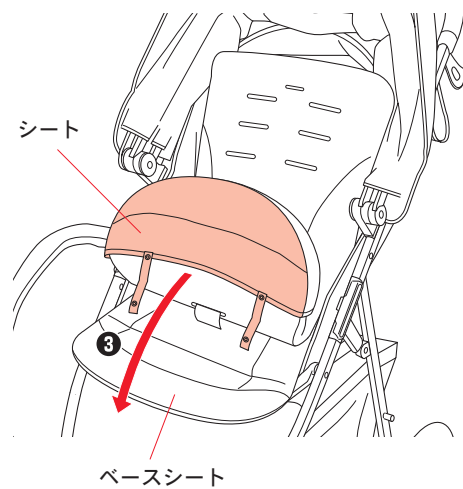
お願い ・シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。



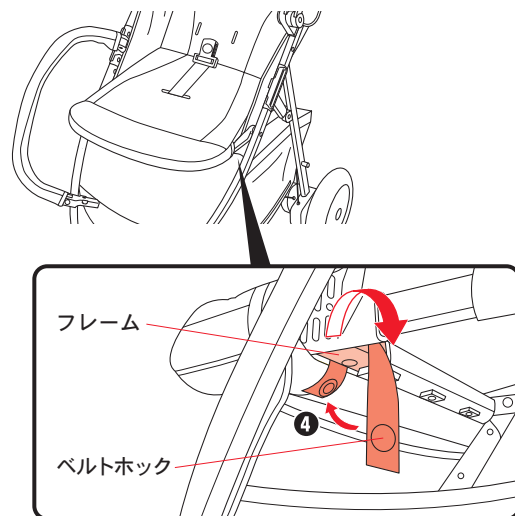
①面ファスナーをとめる。



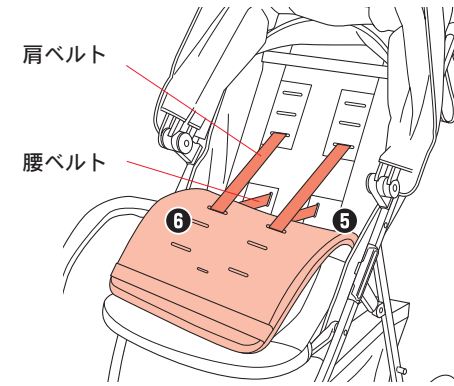
②股ベルトを股ベルト通し穴に通す。



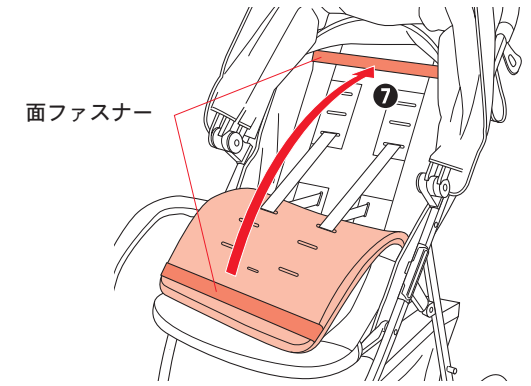
③シートをベースシートにかぶせる。



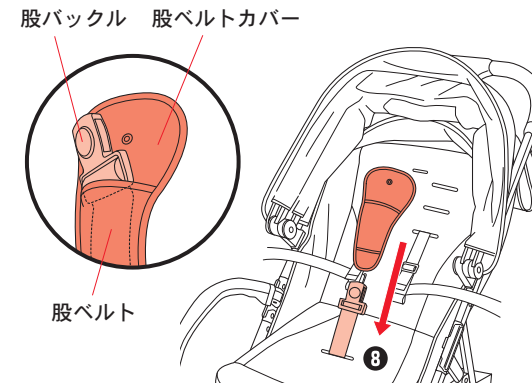
④ベルトホックをフレームに巻き付け、とめる。(左右)



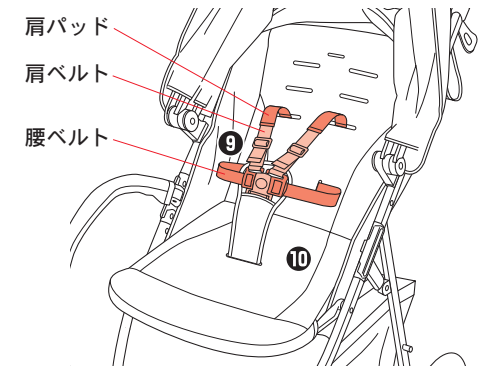
⑤腰ベルトを腰ベルト通し穴に通す。
⑥肩ベルトを肩ベルト通し穴に通す。



⑦背もたれ裏側の面ファスナーをとめる。



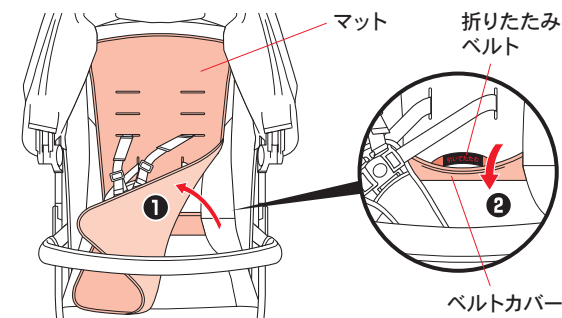
⑧股ベルトに股ベルトカバーを取り付け、ホックをとめる。



⑨肩パッドを肩ベルトに差し込み、肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
⑩腰ベルトを股バックルに差し込む。

オプション品をご使用の際の折りたたみ方

・アップリカ純正の「汗とりマット」、「おしゃれマット」及び「2WAYフットマフ」をご使用の際は、以下のようにして折りたたみベルトを引き出してください。(ベビーカーの折りたたみ方はP17参照)

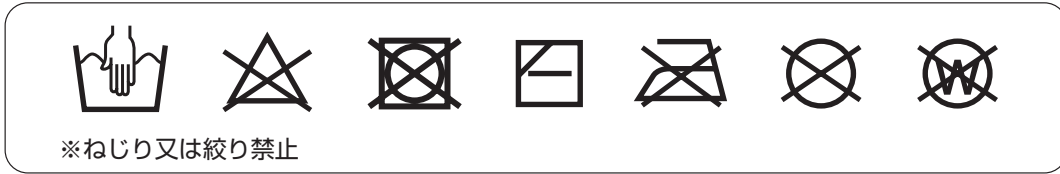


①マット及びフットマフを横からめくり、
②ベルトカバーをめくり、折りたたみベルトを引き出す。

縫製品の洗浄方法

〈シート、フロントガードカバー、肩パッド、頭マモールパッド、腰マモールパッド、股ベルトカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



注意

- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

注意

- ・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検、修理を受けてください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

注意

- ・フレームや車輪に砂や泥、ホコリなどが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
- ・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

〈ネジ・ナット類について〉

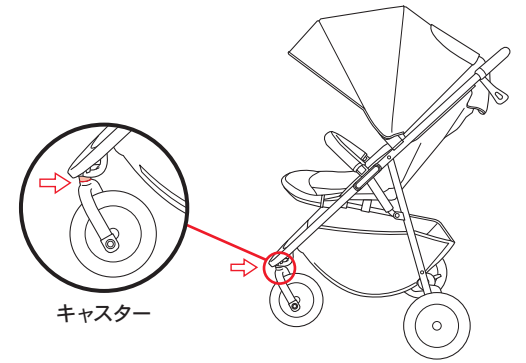
・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

〈フロントガードについて〉

・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉

- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはプラスチック用の潤滑油を使用ください。
- ・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
- ・注油は、1カ所につき2〜3滴程度としてください。



●キャスターがスムーズに回転しない場合は、市販の潤滑油を図の⇒の箇所にはさしてください。

警告

・後輪を外した時、下図の箇所には注油しない。ハンドルブレーキがきかなくなるおそれがあります。

後輪
注油しない

注意

・フロントガード差し込み部付近及び内部には、潤滑油などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。

フロントガード
差し込み部

〈ハンドルブレーキの調節について〉

- ・製品をご使用いただいている際に、ハンドルブレーキの効が悪くなった場合は、下記の方法でブレーキの効きを調節してください。(左右後輪に調節ナット(A)、(B)があります。)
- ・ハンドルブレーキの調節には、8mmスパナやペンチなどの工具を使用し、ナットを傷つけないように調節してください。
- ・この調節を行っても改善されない場合は、弊社お客様サポートセンターへお問い合わせください。(P29参照)

① 下側の(A)ナットを反時計回りに回してゆるめる。

② 〈ブレーキをきつくする場合〉
・上側の(B)ナットを反時計回りに回してナット間の長さを長くする。

〈ブレーキをゆるめる場合〉
・上側の(B)ナットを時計回りに回してナット間の長さを短くする。

③ ゆるめた下側の(A)ナットを時計回りに回して締め付ける。

④ 反対側の後輪も同様に調節する。

⑤ 車体を少し押しながら、ハンドルブレーキをかけ、ブレーキが左右とも同じようにかかることを確認する。

〈きつくする場合〉
Bナット
Aナット
長くする

〈ゆるめる場合〉
Bナット
Aナット
短くする

〈後輪〉

警告

- ・お子さまを乗せたままブレーキ調節をしない。またブレーキの調節は安全な場所で行うこと。ベビーカーが転倒したり、思わぬ事故の原因になります。

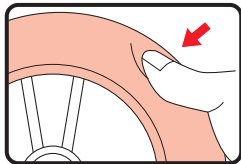
タイヤのお手入れ

〈タイヤのお手入れについて〉

警告 ・コンプレッサー（自動空気入れ機）は使用しない。過度に空気が入りチューブが破裂するおそれがあります。

注意 ・使用前は必ず空気圧を確認し、空気圧が低い場合は適切に空気を入れてください。

〈空気補充のしかた〉



・空気圧の目安：タイヤを親指で押して、弾力が有りながら少しへこむ程度。

種類	バルブの種類	ポンプ(口金)の種類	空気の入れ方
英式	<p>プランジャ キャップ</p>	<p>口金</p>	<p>・プランジャにポンプの口金を取り付けて空気を入れる。</p>

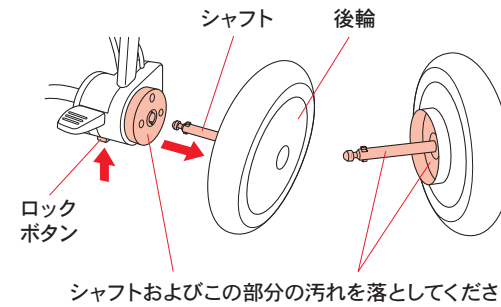
※ポンプの口金は製造メーカーによって異なります。ベビーカーのバルブの種類に合ったポンプで空気を補充してください。

- ・空気圧が低いと、タイヤの接地面積が広くなり走行抵抗が増し、ベビーカーを押しにくくなります。また、タイヤの摩耗やパンク、リムの変形の原因になります。
- ・空気圧が高すぎると、タイヤのパンクや破裂の原因となります。(28psi(約 200KPa、約 2.0kgf)以上にはしないでください。)親指でタイヤの溝を押しても弾力が全くない場合や、走行中に細かな振動が伝わる場合はバルブから空気を抜き、調節してください。
- ・パンクしている又はパンクしている可能性がある場合、消耗によりタイヤ交換が必要な場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(タイヤ交換は有償)

・タイヤの溝がなくなっている。	▶ 交換が必要です。
・タイヤの空気がすぐに抜けてしまう。	▶ パンクしている可能性があります。
・タイヤに深いキズがある。	▶ パンクや破裂する可能性があります。

〈後輪の取り外し方〉

- ・後輪がスムーズに回転しない場合や、後輪から異音がある場合は、後輪を取り外し砂や石などが挟まっていないことを確認してください。また、シャフトおよび下図の部分の汚れを乾いた布などで拭いて、汚れを落としてください。



- ロックボタンを押し、後輪を取り外す。(左右)

- ・後輪を取り外すときは、ベビーカーからお子さまや荷物をおろし、安全な場所で行ってください。

警告 ・後輪を取り外すときは、ベビーカーからお子さまや荷物をおろし、安全な場所で行う。ベビーカーが転倒したり、お子さまや荷物が落ちるおそれがあります。

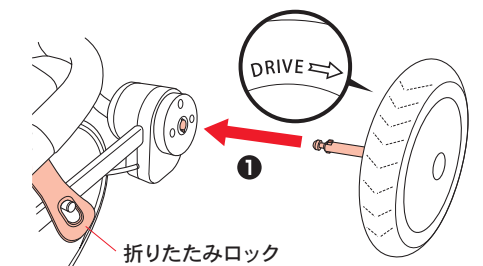
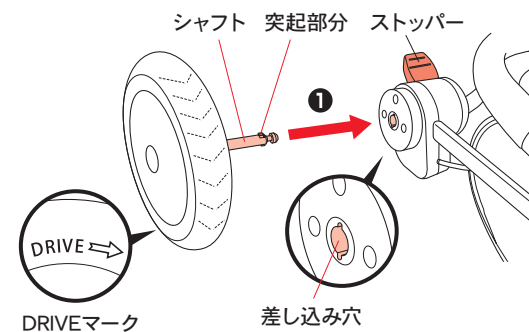
〈後輪の取り付け方〉

ストッパー側

- ・DRIVEマークが外側の車輪を使用する。

折りたたみロック側

- ・DRIVEマークが内側の車輪を使用する。



- ①後輪シャフトの突起部分を差し込み穴の溝に合わせ、差し込む。(左右)
- ・差し込み後、2~3回引っ張り後輪が抜けを確認する。

警告 ・左右の後輪の取り付けが確実に終わるまでは、お子さまを乗せない。ベビーカーが転倒するおそれがあります。

困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
車体が開かない時は	折りたたみロックを解除してから行ってください。(P7参照)
キャスターの回りが悪い時は	キャスターに潤滑油をさしてください。(P24参照)
後輪がスムーズに回転しない時や後輪から異音が出る時は	後輪を取り外し、汚れを取り除いてください。(P26参照)
ストッパーがきかない時は	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
ハンドルブレーキの効きが悪くなった時は	お子さまをベビーカーから降ろして、ハンドルブレーキの調節を行ってください。(P24参照)
リクライニングが起こせない時は	お子さまをベビーカーから降ろして、リクライニングコードを左右に引き、背もたれを起こしてください。(P14参照)
肩ベルトが肩ベルトフックに差し込めない時は	衣類などの生地やシートベルトが挟まっていないか確認してください。
ベビーカーが折りたためない時は	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。(P17参照)
ベビーカーを折りたたんだ状態で自立しない時は	前輪の向きが正しい向きになっているかを確認してください。(P18参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



- ・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示に従って処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ)製品の名前、SGマーク番号 ロ)製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ)被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

〈保証について〉

・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。

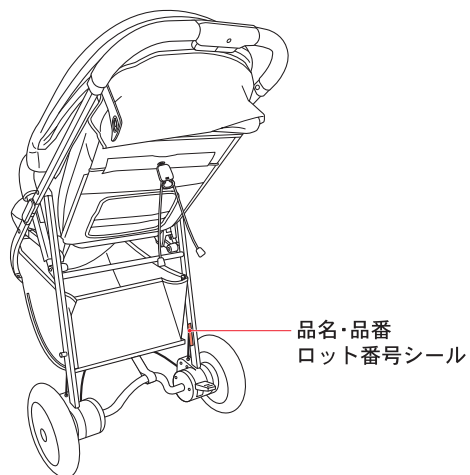
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、後輪フレームシールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート 貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)